

人権フォーラム2017in広島

入場
無料

演劇

光りの扉を開けて

沖縄と広島の高校生が中心と
なって演じます!!



エイズの
こと

ハンセン病
のこと

共に生きる
ということ

演劇「光りの扉を開けて」

2017
2/5 日

開場：13時30分～ / 開演：14時00分

広島市青少年センター

開催場所 〒730-0011 広島県広島市中区基町5-6 1
TEL (082-228-0447)

- 予約不要、どなたでも入場できます。
- 団体での入場はお問い合わせ下さい。

主催：広島県，HIV人権ネットワーク沖縄
後援：広島県教育委員会，広島市，広島市教育委員会

お問い合わせ [ハンセン病問題に関するシンポジウム事務局]
お問い合わせ先名 〒903-0826 沖縄県那覇市首里寒川町2-53 TEL：098-886-1415
メールアドレス human.rights.forum88@gmail.com ホームページ：<http://www.hiv-net.com/>

Map



表紙のイラスト / 松尾 龍樹 (広島学院高校2年) 花言葉で「つながる」という意味の朝顔をイメージしました。

入場
無料

<< プログラム >>

1, オープニング (大合唱)

- * 広島女学院高等学校音楽部
- * 広島学院中学高等学校演劇部と有志
- * ノートルダム清心中学校音楽部
- * ノートルダム清心高等学校合唱部

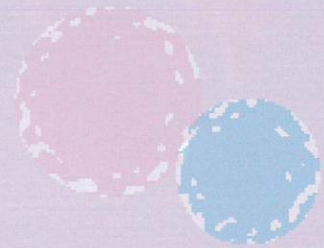
2, 主催者あいさつ

3, プレゼンテーション

- * 盈進中学高校ヒューマンライツ部

4, 演劇「光りの扉を開けて」

5, フィナーレ



<< 演劇「光りの扉を開けて」の紹介 >>

あらすじ

HIVに感染していることを告げられた女子高生「めぐ」。身近な人からの差別や偏見におびえる中、ハンセン病回復者である「八重子おばあ」と出会う。

「八重子おばあ」から語られる想像を絶する過去。その中で生きる勇気を得るきっかけを見つけることになる…。



<< 演劇の推薦 >>

神 美知宏 (元全国ハンセン病療養所入所者協議会会長)

子供たちを中心として展開されるこの演劇は、日常的になんの意味も持たず通り過ぎていく人々を立ち止まらせ、考えさせる強いインパクトを持っています。人間が本質的に持っているべきではないことを教えられ、真の幸せとは何かが示されています。

この演劇には社会を変える力があると思います。観た人の心の中にいつまでも余韻として残ることでしょう。一人でも多くの人に、この演劇を観ていただきたいと強く願います。

<< 演劇の推薦 神 美知宏さんの紹介 >>

* 神 美知宏 (こうみちひろ) *

- 1934年 福岡県京築地区に生まれる。
- 1951年 高校生の時にハンセン病を発病し香川県の療養所に収容される。
- 1995年 全国ハンセン病療養所協議会 (全療協) の局長となる。
- 2010年 全療協会長に就任。
- 2014年 5月9日 ハンセン病隔離政策被害者の人権回復に捧げた生涯を閉じる。

「日本国憲法の基本理念に合致した療養所が運営されるようになるまで、私はこの運動に人生をかけたい」とおっしゃり、ハンセン病の当事者運動索引したその姿は、現在も多くの当事者運動に影響を与えている。

